

株式会社 GSユアサ

お問い合わせは 広報室

〒601-8520 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1番地

TEL. 075-312-1214 FAX. 075-316-3115 <http://www.gs-yuasa.com/gyp/jp>2011年11月21日
株式会社 GSユアサ**太陽光発電と蓄電池を組み合わせ環境負荷を低減した
防災対応型EV急速充電システム「PV-EVシステム」の販売を開始**

株式会社GSユアサ(社長:依田 誠、本社:京都市南区。以下、GSユアサ)はこのたび、太陽光発電と蓄電池を組み合わせ、自然エネルギーを利用したEV急速充電システム「PV-EVシステム」の販売を開始いたしました。このシステムは、災害などによる停電時に防災型電源としても利用することが可能です。年間100システムの販売を目標とし、2012年には12億円の売上を目指します。

機器は太陽電池、リチウムイオン電池、EV用急速充電器を組み合わせたクリーンシステムです。太陽電池で発電した電力をリチウムイオン電池に貯蔵し、蓄えた電力でEVに急速充電を行います。夜間や日照の少ない時は電力会社からの電力を利用し、リチウムイオン電池への充電が可能です。また、発電した余剰電力はパワーコンディショナを介して系統連系により電力会社へ売電することもできます。自然エネルギーにて発電した電力をEVに充電して走行することで、発電からEV走行に至るまで二酸化炭素(CO₂)排出量ゼロの実現を可能としました。

また本設備は、GSユアサが三菱商事株式会社(社長:小林 健、本社:東京都千代田区)、三菱自動車工業株式会社(社長:益子 修、本社:東京都港区)、株式会社リチウムエナジー ジャパン(社長:小野勝行、本社:滋賀県栗東市)と、2011年1月26日より京都市内において電気自動車用リチウムイオン電池2次利用の事業開発のために実証試験をしていたものと同じ設備です。今回の販売に際して蓄電池は2次利用品ではなく、開発を完了している産業用リチウムイオン電池LIM50E-8型モジュールを使用いたします。また、将来的にはリユース品の利用も可能であり、資源の有効利用を通じたさらなる環境負荷の低減が可能となります。

【特 長】

自然エネルギーの活用によりEV走行における環境負荷を低減

太陽光発電エネルギーを効率よくリチウムイオン電池に蓄電してEVに急速充電するため、EV走行における二酸化炭素(CO₂)排出量を削減することができます。

系統設備に負担をかけないシステム

EVへの急速充電はリチウムイオン電池に蓄えられたエネルギーを利用するので系統設備に負担をかけません。

高圧受電が不要

急速充電器を設置する場合、契約電力が50kWを超えると高圧受電が必要となりますが、PV-EVシステムは低圧受電(単相3線)にて急速充電器を設置することができます。

余剰発電電力を有効利用

太陽光発電は系統連系されているので、リチウムイオン電池が満充電の場合、施設の照明などに太陽光発電エネルギーを利用できます。

夜間のEV充電も可能

夜間など太陽光発電が出来ない場合は系統側よりリチウムイオン電池を充電するため、発電状態にかかわらず急速充電器を使用できます。

非常(停電)時も使用可能

ACタイプの急速充電器は停電時に使用できません。PV - EVシステムの急速充電器は、停電時でもEVに急速充電することができます。また長時間停電時でも太陽光発電により、リチウムイオン電池に充電ができ、EVへの継続的な急速充電が可能です。

ライフラインを守る非常用負荷への給電も可能

パワーコンディショナの自立運転出力機能により、停電時に照明や防災情報機器に給電することが可能で、ライフラインの維持に大きな役割を果たすことができます。

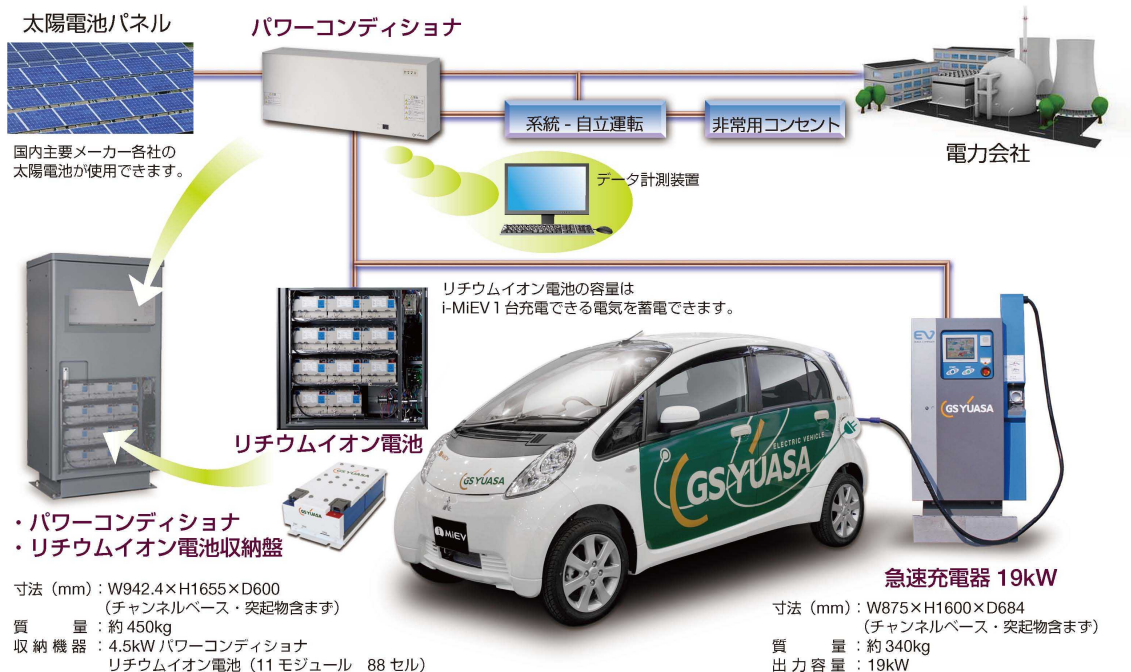
【発売日】 2011年11月21日

【希望小売価格】 ￥12,000,000 - (税別・工事費は含みません)
注:太陽光電池パネル・架台・接続箱、ならびに設置費用は別途発生いたします

【販売予定台数】 100台 / 年間

【構成機器】	リチウムイオン電池	型式:LIM50E 8G2 - C1	11モジュール
		定格:50Ah	電気自動車用LEV50の対応も可
	パワーコンディショナ	型式:LSSA - 4.5 - S3CE	1台
		定格:单相2線式AC202V, 4.5KW	
	電気自動車用急速充電器	型式:EVC - 20KD	1台
		定格:DC入力タイプ, 19KW	
	蓄電池盤		1式
	太陽電池・架台・接続箱	2kW~4kWの太陽光パネルと組み合わせて使用します。 設置場所に合わせて個別に設計いたします	
	* オプションによりデータ計測装置にて充放電状況や発電量等のデータを収集することが可能です。		

【仕様】



【この件に関するお客様からのお問い合わせ先】
株式会社 GSYUASA 新エネルギー本部 TEL 03 - 5402 - 5828
【この件に関する報道関係からのお問い合わせ先】
株式会社 GSYUASA 広報室 TEL 075 - 312 - 1214